

中村征夫（なかむらいくお）のプロフィール

1945年秋田県昭和町（現・潟上市）生まれ。

19歳のとき神奈川県真鶴岬で水中写真を撮るダイバーに出会い、独学で水中写真を始め、31歳でフリーランスとなる。

1977年東京湾にはじめて潜り、ヘドロの海で遅く生きる生きものに感動、以降ライフワークとして取り組む。

沖縄の開発によるサンゴ礁の滅亡や白化問題、諫早湾の干拓はじめ、海の環境問題に対して映像と文章で訴え、報道番組で生中継を担当するなど、「海の報道写真家」として活躍。

出版物、テレビ、ラジオ、講演会とさまざまなメディアを通して海の魅力や海をめぐる人々の営みを伝えている。

1988年木村伊兵衛写真賞、2007年土門拳賞ほか受賞多数。

2006年個展「海中2万7000時間の旅」（東京都写真美術館）、2008年「命めぐる海 都会の海から聖地の海へ」（日本橋・三越本店）を開催、全国に巡回する。

2009年秋田県潟上市にフォトギャラリーブルーホールを開設。

2010年「世界一の珊瑚礁」（渋谷・東急本店）、2013年キヤノンギャラリーS 10周年記念展「Magic of the blue」、「ひさかた」を開催。